

和地ひとみレポート No.274

東大和市市制 50 周年記念事業実施方針

2020 年は東大和市にとって特別な年

■東大和市市制 50 周年記念事業実施方針

…3月29日に市長決裁を受け、このたび「東大和市市制 50 周年記念事業実施方針」が発表されました。
…東大和市は昭和 29 (1954) 年に大和村から大和町に、その後、昭和 45 年 (1970 年) 10 月 1 日に旧多摩郡大和町から東大和市となりました。その市制執行で東大和市が誕生してから 50 年の節目となる年が平成 32 年 (2020 年) であることから、市では市制 50 周年に様々な記念事業を実施することとし、その実施方針を策定しました。

■内容は

…今回の「東大和市市制 50 周年記念事業実施方針」は『市民の皆様との協働により機運を盛り上げ、また、記念事業を実施するうえで、共通理解を図ることを目的に』策定したとのこと。そして、その方針の中では「基本的な考え方」、「事業方針」、「事業構成」が以下の通り示されました。

■基本的な考え方

東大和市は、都心から西方 35 km 圏の 1 時間通勤圏という立地条件から、高度経済成長期に首都圏のベッドタウンとして住宅開発が進みました。これに併せて学校、各種施設、都市計画道路、公共下水道等の都市基盤が整備されました。一方、市の北部には、多摩湖を中心に狭山丘陵の自然が残る緑豊かな住宅都市です。
市制 50 周年は、市民の皆様とともに市の半世紀の歩み・軌跡を振り返り、積み重ねてきた歴史や先人たちの業績、さらには市の魅力の再確認、再発見するとともに、活力に満ちた市の将来を展望し、更なる飛躍・発展に向けて新たな半世紀の出発点と考えています。

そこで、市民との協働により、今日までの歩みを振り返り、今を再確認し、明日を拓くことを基本理念とします。市制 50 周年を次の 50 年間に向けた新たなまちづくりの始まりと位置づけ、市民、企業、団体、市等の関係者が協働して市制 50 周年記念事業を展開します。

なお、平成 32 年は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される年であることから、市制 50 周年記念事業との連携についても検討します。

■事業方針

基本的な考え方を踏まえて、次の事業方針に基づいて記念事業を実施します。

- ① 市民の皆様をはじめ様々な関係者が協働して、市制 50 周年を祝い、ふるさと東大和への誇りと愛着心を深める。
- ② 東大和の歩みや魅力・特長を再確認し、次世代に継承するとともに、市内外に広く発信する。
- ③ 次世代を担う子どもたちの夢や希望を育むとともに、明日の東大和につながるまちづくりの契機とする。



■事業構成

市制 50 周年記念事業は、「記念式典」「実施事業」「広報・PR」で構成します。実施事業は、市が市制 50 周年を記念し、市が中心となって企画運営を行う「特別事業」と地域や市民団体等と連携して実施する「連携事業」で構成します。

① 事業期間

平成 32 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで(平成 32 年度)とします。

② 記念式典

市の半世紀を振り返り、市制の発展に貢献された方々の表彰を行うとともに、次の 50 年を展望した「東大和らしいまちづくり」の方向性等を発信するなど、市制 50 周年の節目として、平成 32 年 10 月 1 日前後に記念式典を実施します。

③ 実施事業

◇特別事業

ア:市制 50 周年の記念となるような事業

イ:市制 50 周年を契機に取り組む事業

ウ:既存事業で市制 50 周年記念事業の冠付けを行う事業

◇連携事業

ア:市制 50 周年記念事業の出資に賛同し取り組む事業

イ:既存事業で市制 50 周年記念事業の冠付けを行う事業

④ 広報・PR

市制 50 周年を記念する記念誌の発行、キャッチフレーズやロゴマークの作成を検討するとともに、ポスター・チラシ等の印刷物や各種媒体を使用した情報発信を行います。また、東大和の魅力・特長を広く内外に発信するブランド・プロモーションにも積極的に取り組みます。

■ここ数年は 50 周年が目白押し…

他市の状況は？

…明治時代からの度重なる行政区の制度変更により、東大和市も様々な行政区分を経てきました。これは東大和市だけではなく、周辺の市も同じような歴史を経ており、市制執行した年も近いいため、ここ近年は東京都 26 市の様々な市で 50 周年の節目を迎え、中でも、東大和市と同じ年に 50 周年を迎える市は 6 市もあります。

…先に節目を迎えた各市では、市制執行 50 周年記念の事業や式典を開催。例えば隣の東村山市では平成 26 年(2014 年)4 月 1 日に市制施行 50 周年を迎え、記念式典では“東村山しあわせ大使”の女優の竹下景子さんと東村山市を舞台とした映画“あん”の映
(裏面に続く)

画監督河瀬直美さんとのトークショーや写真展、パレードなどを開催。また、記念植樹や子ども向けのイベント等も開催しました。

…また、東京都 26 市の中で最初に市制執行をした八王子市は、昨年 100 周年という節目を迎え、100 周年記念事業を実施。市のホームページの中に「八王子市市制 100 周年記念サイト」を特別に設け、100 周年記念の事業内容や取組みを紹介するほか、市民からのメッセージなども紹介しています。

■東京都 26 市の市制執行年

(表示順は執行日の早い順)

1917 年(大正 6 年)	八王子市
1940 年(昭和 15 年)	立川市
1947 年(昭和 22 年)	武蔵野市
1950 年(昭和 25 年)	三鷹市
1951 年(昭和 26 年)	青梅市
1954 年(昭和 29 年)	府中市・昭島市
1955 年(昭和 30 年)	調布市
1958 年(昭和 33 年)	町田市・小金井市
1962 年(昭和 37 年)	小平市
1963 年(昭和 38 年)	日野市
1964 年(昭和 39 年)	東村山市・国分寺市
1967 年(昭和 42 年)	国立市
1970 年(昭和 45 年)	福生市・狛江市・東大和市・清瀬市・東久留米市・武蔵村山市
1971 年(昭和 46 年)	多摩市・稲城市
1991 年(平成 3 年)	羽村市
1995 年(平成 7 年)	あきる野市
2001 年(平成 13 年)	西東京市

■意義ある記念行事に

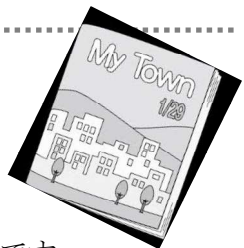
…自治体が行う周年記念事業とは、市制や町制の施行より一定年が経過した年に行われる記念事業で、開催頻度や規模などは異なりますが、多くの自治体で実施されています。内容は様々ですが、その多くが基本的に祝賀式典をメイン事業とし、冠事業、企画事業を組み合わせ、その年度 1 年を期間として実施しています。…例えば西東京市は、平成 23 年に市制 10 周年記念事業を実施。その事業内容や方針について、ホームページ等で市民からの意見を募りました。その結果、約 4 割の回答者から、記念事業全体に対する自由意見が寄せられたとのこと。中には記念事業の実施そのものにも否定的な意見(否定的なニュアンスの意見を含む)も数件あったようですが、概して、事業の実施方法・内容に関する意見だったようです。また、特に、実施方法として「お金をかけない」ことに対する意見が非常に多く、そのほかでは「市民参加」「市民主役」をキーワードとする意見も見られたようです。

…市ばかりではなく、企業も“設立〇周年”を記念することがあります。競争の激しい中、長年生き残って発展してきた企業にとって周年イベントは、株主や顧客、従業員、取引先、そして地域社会といったステークホルダーに対して、企業からのメッセージや感謝を伝え、「創立・設立から現在まで」を振り返り、「現在から未来」を思い描き、“進化・成長”を誓う絶好の機会として捉えています。そして、周年事業の効果についてはすぐに表れるものと“社員のモチベーションや愛社精神”といった、すぐには測れないものもあると思いますが、その効果には目標を持ち、検をを行っています。

…東大和市は財政的に余裕のある状況でないなか、どのような記念事業を実施するのか。一過性のお祭りのようにならないよう、ぜひ、効果のある良いものにしてもらいたいと思います。

市報が全面カラー化でも…予算は削減

“より読まれ” “市のイメージアップ” のツールも目指し



…多くの自治体がシティ・プロモーションに取り組み、住みたい、住み続けたいと思っていただくために様々な広報活動に取り組んでいますが、やはり、幅広い年代の方に届く広報媒体は紙媒体の市報です。ホームページなどのインターネットの情報は、閲覧者が「見に行かなければ」

得られない情報であることと違い、市側から積極的に提供できるという点が紙媒体の市報の利点です。また、読みやすく、センスの良い市報は、手から手へ渡っていく可能性も秘めており、「より多くの方に東大和市を知っていただく」ことの一助としても活用できると思います。

…多くの自治体で市報のカラー化が実施される中、予算の関係上、東大和市では市報のカラー化には踏み出せていませんでした。しかし、今年度予算で作成された 4 月 15 日号からカラー化を実現。担当職員の努力と工夫を大いに評価し、感謝したいと思います。というも、今回のカラー化に際し、市は市報作成の予算をアップさせていないからです。従来、業者に依頼していた作業の一部を職員が実施し、また、既存のタブロイド判の紙を使用することで、コストも下がり、広告掲載も増やしたとのこと。このように、「できない」と決めてかからず「実現したい、何か方法はないか」という視点で事業を見直した姿勢は他の事業でも参考にしてほしいと思います。また、今回から掲載された AR もイベントの広報等だけでなく、手続き方法など動画で知らせた方が分かりやすいものなどにも使用し、市民の利便性を高めるツールとしても活用することを期待しています。

◇ H30 年度の印刷製本費予算は H29 年度より 10.1 万円ダウン、広告収入予算は H29 年度より 98 万円アップ ◇

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】 「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



1970 年 東京都北区生まれ。父の転勤で 1 歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギッ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を 2 年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。学校外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経 WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011 年 4 月、初当選。現在 2 期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木 3-274-2-102